令和８年 11 月 19 日
教育委員会会議　資料
学校教育課

議案第　25　号

小松市地域クラブ活動参加費等支援補助金交付要綱の制定について

次のことについて議決を求める

小松市告示第　号

小松市地域クラブ活動参加費等支援補助金交付要綱をここに公表する。

令和　年　月　日

小松市長　宮橋　勝栄

小松市地域クラブ活動参加費等支援補助金交付要綱

（補助金の交付）

第１条　この要綱は，小松市地域クラブ活動参加費等支援補助金（以下「補助金」という。）を交付するものとし，補助金の交付に関し，小松市補助金交付規則（昭和45年小松市規則第19号。以下「規則」という。）に定めるもののほか，必要な事項を定めるものとする。

（目的）

第２条　この要綱は，中学校部活動の地域展開に伴い，土曜日，日曜日，祝日（以下「休日」という。）における部活動の地域展開の受け皿として，小松市教育委員会が認定又は登録したスポーツ・文化芸術活動を行う団体（以下「地域クラブ」という。）の活動への参加に際し，経済的理由により参加費等の負担が困難な保護者に対して予算の範囲内において補助金を交付するこ

とにより，生徒が将来にわたりスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の確保を支援することを目的とする。

（補助対象者）

第３条　補助金の交付を受けることができる者は，以下のすべてに該当する者とする。

⑴　本市の区域内に住所を有する者

⑵　小松市立中学校（義務教育学校の後期課程を含む。）に在籍中の生徒であって，本市が認定した休日の地域クラブに参加するものの保護者

⑶　小松市要保護準要保護児童生徒就学援助費交付要綱の規定に基づき就学援助を受給する者

（補助対象経費及び補助金額）

第４条　補助金交付の対象となる経費，補助率及び上限額は，次のとおりとする。

| 対象経費の区分 | 補助率 | 上限額 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 参加費 | 10/10 | 生徒１人につき月額3,000円 | 休日の地域クラブ活動参加のために保護者が負担した参加費に限る（入会金，用具代，交通費等は除く） |
| 保険料 | 10/10 | 生徒１人につき年額800円 | 休日の地域クラブ活動に対応する保険料で，保護者が負担したもの |

２　平日と休日の参加費の区別ができない場合は，参加費の月額を１週間の活動日数と休日の活動日数で按分したものを補助金の交付対象経費とする。

３　補助金の交付対象となる活動は，補助金を受けようとする日の属する年度において参加したものに限る。

（手続に関する規則の適用）

第５条　市長は，補助金の交付申請から補助金の額の確定までにつき，規則第16条の規定を適用し，規則第５条から第14条までの規定は適用しない。

２　市長は，補助事業者が消費税及び地方消費税の課税事業者でないことから，規則第17条本文の規定を適用しない。

（手続の期限）

第６条　規則第16条第１項の規定による交付申請兼実績報告は，補助金を受けようとする日の属する年度の末日までに行わなければならない。

（様式）

第７条　市長は，規則第16条第２項の規定にかかわらず，規則第16条第２項の決定兼確定に係る手続に関する様式を小松市地域クラブ活動参加費等支援補助金交付申請書兼実績報告書兼請求書（様式第１号）とする。

２　補助金の交付を受けようとする者は，前項の様式に加えて，次の書類を添付しなければならない。

⑴　地域クラブ参加費等支払状況表（様式第１号　別紙）

⑵　就学援助受給世帯であることを証明する書類の写し，または就学援助受給の照会に関する同意書

⑶　参加費の支払が確認できる書類（領収書，通帳の写し等）

⑷　活動実績（参加状況等）が確認できる書類

⑸　その他，市長が必要と認める書類

（委任）

第８条　この要綱に定めるもののほか，補助金の交付に関し必要な事項は，市長が別に定める。

附　則

この告示は，公表の日から施行し，令和８年４月１日に遡及して適用する。

様式第１号（第７条関係）

年　　月　　日

（あて先）小松市長

住　所
氏　名
連絡先

小松市地域クラブ活動参加費等支援補助金交付申請書兼実績報告書兼請求書

小松市地域クラブ活動参加費等支援補助金要綱第７条の規定に基づき，下記のとおり関係書類を添えて申請し，補助金額が確定したときは，その支払いを請求します。

記

金　　円

（口座振込金融機関）

| 金　融　機　関　名 | 支　店　名 | 預金種別 |
|---|---|---|
| 銀　　行<br>信用金庫<br>農　　協 | 支店<br>支所 | ・普　通<br>・当　座 |
| 口座番号(7ｹﾀ) | 口　座　名　義　(ｶﾅ) | |
| | | |

**□ 申請にあたり，就学援助の受給の有無を照会することに同意します。**
**↑チェックのない方は，受給を証明する書類の添付が必要です。**

※　この書類に記載する申請者と別紙に記載する保護者の氏名，口座名義人の氏名は同一にしてください。

※　別紙「地域クラブ参加費等支払い状況表」，振込口座がわかる通帳等の写しを添付してください。

様式第１号　別紙（第７条関係）

# 地域クラブ参加費等支払状況表

１

| | |
|---|---|
| 在籍学校名 | |
| 所属クラブ名 | |
| 住所 | |
| 生徒氏名 | |
| 保護者氏名 | |

２　支払額

| | 参加費 | 保険料 | 支払額計 | うち対象経費 | 参加日数 |
|---|---|---|---|---|---|
| ４月 | | | | | |
| ５月 | | | | | |
| ６月 | | | | | |
| ７月 | | | | | |
| ８月 | | | | | |
| ９月 | | | | | |
| 10月 | | | | | |
| 11月 | | | | | |
| 12月 | | | | | |
| １月 | | | | | |
| ２月 | | | | | |
| ３月 | | | | | |
| 合計 | | | | | |

・参加費は，休日の地域クラブ活動の参加費のみ記載してください。平日の活動を含む場合は、平日と休日の活動状況のわかる資料を添付してください。
・参加費，保険料以外の経費は対象外となります。またクラブへの参加実績が無い月は，補助の対象外となります。（上限額は参加費：月3,000円，保険料：年間800円です）
・地域クラブの参加費の毎月の請求額と支払い実績，活動状況が確認できる書類を添付してください。

令和８年 11 月 19 日
教育委員会会議 資料
学校教育課

# 令和８年度勝木賞について

１．目　　的

本市出身の世界的な聴覚生理学者である故 勝木 保次 博士のご厚志で設けられた基金を活用し、人文及び自然科学に対する学習意欲が旺盛で成績が特に優秀な生徒に「勝木賞」を贈り、博士の偉業を顕彰するもの。

２．対 象 者

小松市立中学校第３学年及び義務教育学校第９学年に在籍する生徒

３．選　　考

(1)　選考方法

学校長から推薦された被表彰対象者を勝木賞選考委員会（※）による審議を経て、教育委員会が市長と協議し決定

※　**令和８年度選考委員（案）**

| | |
|---|---|
| **委員長** | **公立小松大学　学長** |
| | **小松市立高校　校長** |
| | **学識経験者（勝木家関係）** |
| | **小松教育事務所　所長** |
| | **小松市副市長** |

審査は、次の項目に着目して実施

①市・県科学作品展等の実績、人文・自然科学、探究への関心度合い
②学習成績
③特別活動（生徒会、学級会、部活動等）でのリーダーシップ、活動等
④文化、スポーツ活動での受賞歴、実績等
⑤その他総合的な人物評価

(2)　選考委員会　　令和９年１月８日（金）

４．授 与 式　　令和９年２月 22 日（月）

５．そ の 他

受賞人数　　令和７年　０人
令和６年　２人（授与式　令和７年２月３日）
令和５年　２人（　〃　　令和６年２月 20 日）

令和８年 11 月 19 日
教育委員会会議 資料
教育研究センター

# ＡＩ型学習アプリ導入業務のプロポーザル実施について

児童生徒の基礎学力の定着と個別最適な学びの推進、並びに教職員の負担軽減及び支援体制の充実を図るため、ＡＩ型学習アプリの契約更新に合わせて、導入アプリ及びその運用の見直しを行う。

業者の選定については、公募型プロポーザル方式により行う。

１　委託内容　　ＡＩ型学習アプリ導入に係る業務
（システム使用、教員への導入支援、保守業務等）

２　契約期間　　令和９年４月１日から令和 14 年３月 31 日まで（５年間）

３　審査員　　４人（学識経験者　２人、行政関係者　２人）

４　今後の予定

| | |
|---|---|
| 募集期間 | 11 月 16 日まで |
| 一次審査会（書類審査） | 12 月上旬～中旬 |
| 二次審査会（プレゼンテーション） | 12 月中旬～下旬 |
| 事業者の決定 | 12 月下旬 |
| 予算の承認 | （３月議会） |
| 契約 | ４月当初 |

令和８年11月19日
教育委員会会議 資料
生涯学習課

# 令和９年小松市成人式～二十歳のつどい～について

## １．日　時

令和９年１月10日（日）　午前11時 ～ （開場　午前９時30分）

## ２．会　場

末広体育館（義経アリーナ）

※　病気や障がいで配慮が必要な方のためサテライト会場（末広野球場（弁慶スタジアム）会議室）においてライブ中継を行う予定

## ３．対象者

平成18年４月２日から平成19年４月１日までに生まれた者（約1,000人）

## ４．日　程

| | |
|---|---|
| ９時30分～ | 開場・受付開始 |
| 11時00分～ | 開式 |
| | 式辞（小松市長） |
| | 祝辞 |
| | 二十歳の誓い（新成人代表） |
| | 閉式 |
| 11時45分～ | 記念写真撮影（13時頃終了） |

令和８年11月19日
教育委員会会議 資料
生涯学習課

# 絵本館ホール「夢の本棚」休館について

曳山保存展示館が絵本館ホール駐車場、隣接地（旧京町郵便局跡地）に整備予定のため絵本館ホール「夢の本棚」を工事期間中休館とします。

１．休館期間　　令和９年７月１日～令和10年３月31日

２．周知方法　　広報12月号および市ホームページに掲載
　　利用頻度が多い利用者には個別に連絡

３．そ の 他　　令和10年４月以降の予約は、令和９年10月から受付

４．参　　考

《曳山保存展示館整備場所》



令和８年11月19日
教育委員会会議 資料
生涯学習課

# 気象状況等に応じた放課後児童クラブ休所等基準について

## １．目的

気象災害の激甚化や地域におけるリスクの多様化に対応し、児童および職員の安全を最優先に確保するため、放課後児童クラブにおける緊急時の休所等基準を見直します。あわせて、保護者および関係職員への周知徹底を図り、緊急時における迅速かつ適切な対応体制を整備します。

気象災害、地域におけるリスク … 大雨、地震、津波、有害鳥獣、Ｊアラート など

## ２．休所等基準

**《見直し前の基準》**

**⑴開所前（登所前）にレベル３以上**

・学校の休校・登校判断確認

・市（担当課）と開所可否を協議

・開所中止の場合、保護者へ一斉連絡（メール・アプリ等）

**⑵開所中にレベル３以上**

・責任者がレベルと市の避難情報を確認

・レベル３（見込み含む）で引き渡し開始判断

・レベル４（　〃　）で保育終了、引き渡し移行（引き渡し困難な場合、避難所退避検討、避難所等での児童引き渡し。）

**《見直し後の基準》**

放課後児童クラブは、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対し、遊びや生活の場を与える施設のため、**原則「開所」**とするが、利用時間外・内の状況に応じ「開所」、「休所」を判断する。

**⑴利用時間外（学校開校日）**

児童が通う小学校の対応（臨時休業、自宅待機、一斉下校等）に準じて判断

**⑵利用時間外（学校休業日）**

午前６時時点の市の避難情報や被災状況等に基づき判断

**⑶利用時間内（学校開校日・学校休業日）**

市の避難情報や被災状況等に基づき判断

例）大雨、地震の場合

⑴利用時間外（学校開校日）

児童が通う小学校が臨時休校、一斉下校　→　「休所」

⑵利用時間外（学校休業日）

大雨（レベル３高齢者等避難以上）　→　「休所」

地震（震度５弱以上かつ安全確認が困難）　→　「休所」

⑶利用時間内（学校開校日・学校休業日）

大雨（レベル３高齢者等避難以上）　→　「休所（保護者への引き渡し）」

地震（震度５弱以上かつ安全確認が困難）　→　「休所（保護者への引き渡し）」

※　避難情報が発令中であっても気象状況が回復する見込みがある、放課後児童クラブの立地条件等により安全確保が可能であると判断した場合は、一律に「休所」とせず「開所」や「開所時間繰り下げ」を検討する。

**３．周知**

市ホームページ掲載、クラブへの通知（クラブから保護者への周知依頼）

令和8年11月19日
教育委員会会議　資料
小松市立高等学校

# 令和８年度　芸術コース体験アンケート結果について

日時：令和８年10月18日（日）9:00～11:30
参加生徒数：【音楽】47名（小松27・加賀6・能美4・白山6・金沢1・津幡1・中能登1・県外1）（※R7:30名・R6:31名・R5:31名）
【美術】38名（小松16・加賀14・能美5・白山1・川北1・県外1）（※R7:25名・R6:22名・R5:20名）

１．体験入学をどこで知ったか(複数選択可)

| 選択肢 | 音楽 | | 美術 | |
|---|---|---|---|---|
| | R8【n=47】 | R7【n=30】 | R8【n=38】 | R7【n=25】 |
| ⑴ 中学校の掲示物 | 15 (22%) | 9 (21%) | 18 (34%) | 13 (39%) |
| ⑵ 先生から聞いた | 23 (34%) | 15 (36%) | 19 (36%) | 10 (30%) |
| ⑶ 先輩から聞いた | 8 (12%) | 1 (2%) | 3 (6%) | 1 (3%) |
| ⑷ 市立高校HPをみた | 9 (13%) | 12 (29%) | 8 (15%) | 6 (18%) |
| ⑸ インスタグラムを見た | 10 (15%) | | | |
| ⑹ その他 | 3 (4%) | 5 (12%) | 5 (9%) | 3 (9%) |
| ※ R8　その他の内容 | ・兄が在学しているから<br>・夏の体験入学で知ったから | | ・友達　・両親 | |

２．体験入学に参加した理由(複数選択可)

| 選択肢 | 音楽 | | 美術 | |
|---|---|---|---|---|
| | R8【n=47】 | R7【n=30】 | R8【n=38】 | R7【n=25】 |
| ⑴ 市立高校芸術コース受験を考えているから | 31 (52%) | 24 (62%) | 29 (51%) | 16 (44%) |
| ⑵ いろいろな学校を見てみたかったから | 12 (20%) | 7 (18%) | 12 (21%) | 9 (25%) |
| ⑶ 先生や家族に勧められたから | 13 (22%) | 6 (15%) | 8 (14%) | 11 (31%) |
| ⑷ 友達が参加したから | 2 (3%) | 1 (3%) | 3 (5%) | 0 (0%) |
| ⑸ その他 | 2 (3%) | 1 (3%) | 5 (9%) | 0 (0%) |
| ※ R8　その他の内容 | ・興味があったから<br>・コースが気になっているから | | ・母の母校のため<br>・芸術に興味があったから | |

３．体験入学の講座内容について(複数選択可)

| 選択肢 | 音楽 | | 美術 | |
|---|---|---|---|---|
| | R8【n=47】 | R7【n=30】 | R8【n=38】 | R7【n=25】 |
| ⑴ 分かりやすかった | 37 (79%) | 29 (59%) | 38 (59%) | 24 (57%) |
| ⑵ 分かりにくかった | 0 (0%) | 0 (0%) | 0 (0%) | 0 (0%) |
| ⑶ なんともいえない | 0 (0%) | 0 (0%) | 0 (0%) | 0 (0%) |
| ⑷ 進路選択に役立ちそう | 10 (21%) | 19 (39%) | 25 (39%) | 17 (40%) |
| ⑸ 進路選択に役立たない | 0 (0%) | 0 (0%) | 0 (0%) | 0 (0%) |
| ⑹ その他 | 0 (0%) | 1 (2%) | 1 (2%) | 1 (2%) |
| ※ R8　その他の内容 | | | ・楽しかった | |

４．現在の進路希望について(１つだけ選択)

| 選択肢 | 音楽 | | 美術 | |
|---|---|---|---|---|
| | R8【n=47】 | R7【n=30】 | R8【n=38】 | R7【n=25】 |
| ⑴ 市立高校芸術コース | 17 (36%) | 9 (30%) | 16 (42%) | 7 (27%) |
| ⑵ 市立高芸術コースまたは市立高普通科 | 7 (15%) | 2 (7%) | 5 (13%) | 1 (4%) |
| ⑶ 市立高芸術コースまたは他校 | 18 (38%) | 14 (47%) | 8 (21%) | 9 (35%) |
| ⑷ 市立高芸術コースまたは他校の芸術系 | 0 (0%) | 2 (7%) | 4 (11%) | 5 (19%) |
| ⑸ 他校 | 4 (9%) | 2 (7%) | 3 (8%) | 2 (8%) |
| ⑹ まだ考えていない | 1 (2%) | 1 (3%) | 2 (5%) | 2 (8%) |

５．自由意見(主なもの)

| 音楽 | 美術 |
|---|---|
| 雰囲気がよい・楽しかった・やさしく接してくれた(多数) | 丁寧でわかりやすく、デッサンのポイント等がわかった（多数） |
| 芸術コースに入学したいと思った（多数） | 不安だったが、やさしく接してくれたので安心した |
| 進学先として考えてみたい、興味がわいた（多数） | 自分のレベルが認識できた、もっと上達したいと思った |
| 音大受験のための設備が整っている | デッサン経験がないが、沢山話しかけられうれしかった |
| 進路が市立高校普通科か芸術コースで絞られた　　等 | 褒めてくれてうれしかった　　等 |

令和８年 11 月 19 日
教育委員会会議 資料
小松市立高等学校

# 芸術コース「ミューズコンサート」「卒業制作展」について

本校芸術コース（音楽専攻生・美術専攻生）の高校３年間における成果を発表し、更なる研鑽を図るため、下記のとおりミューズコンサート及び卒業制作展を開催します。

## 第３４回ミューズコンサート

日　時　　令和８年 12 月 18 日（金）　（開場）17 時 45 分（開演）18 時 15 分

会　場　　能美市根上総合文化会館タント　音楽ホール

出演者　　小松市立高等学校普通科芸術コース音楽専攻生３年生　16 人

内　容　　管楽器・打楽器の独奏、音楽専攻生全員による合唱

## 第３４回卒業制作展

会期・会場　　○令和９年１月９日（土）～１月 24 日（日）
宮本三郎美術館ロビー
※　１月９日（土）ギャラリートーク開催予定

○令和９年１月 25 日（月）～１月 29 日（金）
小松市役所エントランスホール

○令和９年２月 10 日（水）～３月２日（火）
小松市立高等学校エントランスホール
※ ２月 10 日（水）ギャラリートーク開催予定

出展者　　小松市立高等学校普通科芸術コース美術専攻生３年生　18 人

内　容　　油絵９人、日本画３人、デザイン６人の卒業制作を展示